（第三種郵便物認可 昭和七年六月十五日）
昭和十三年十二月八日
常磐新聞
（木曜日）
第一千二百二十六號

夕刊
常磐新聞
十二月七日
發行兼編輯印刷人 [illegible]隆次
福島縣小名濱町古港一
發行所 常磐新聞社
日刊 但日曜祭日翌日休刊
一部二錢 一ヶ月三十錢
廣告料 一行 五十錢

二人組の兇惡强盜を 松ヶ岡と驛前で捕る

昨夜平署の捕縛演習

聖戰下第二年の歲末に備へ平署では六日夜九時十二分管內署員八十名の非常招集を行つたが高橋警部補の五分を第一着として二時間二十分の後自轉車で驅せ參じた澤渡 板橋巡査を最後に好成績を以て招集を完了し

六日午后十時三十分頃植田町字上町吳服店上洲屋事上石市太郎方裏口の施錠を外して左記の人相着衣の賊二名押入り奥八疊の間に就寢中の上石夫妻を呼び起し賊の一名は出刄包丁を突きつけ「人助けの爲め金が入用だ、騷ぐと爲めにならぬ早く有金全部出せ」と脅迫夫婦がこれに應せぬため賊は市太郎氏の左上腫部及び頭部顏面に瀕死の重傷を負はせ此の間他の一名は隣室の手提金庫から金五百二十圓を强奪し兩名共に素早く逃走、搜査網を巧みに逸し自動車を以て國道を東進、約三十分前に市に潜入せり

（兇行當時の人相着衣）

一、甲 五尺五寸位、骨格たくましく角顏、蒼白にして眉毛濃し眼大なる方、中折帽を冠り印袢天紺股引に地下足袋で土工風

二、乙 五尺二寸位、中肉稍角顏、小麥色で一見好男子、中折帽を冠り紺サージ詰襟服を着用し黑革靴

の想定に基き元平署刑事部長川上清之助、平署現特高部長矢部七郎兩氏を僞裝强盜に仕立て捕縛演習を行ひ一人は松ヶ岡公園內に潛伏したところを、他の一名（矢部部長）は平驛から高飛せんとした所を取押へ曉の寒風の中に凱歌をあげた、日頃の訓練の成果を見事に收め戰時下銃後の治安を護る警察官の賴もしさを實證した

演習終つて默禱

演習を終つた全署員は午前七時半會議室に參集、皇居遙拜・皇軍將士に對する武運長久の一分間默禱をなし本田署長の講評、富澤檢事の激勵談あつて一同朝食に移つた

署長講評

非常招集並に捕賊演習における本田署長の講評、大要次の通り

昨夜九時十二分を期して全署員の非常招集を試みたが早きは五分、遠隔の駐在所員も二時間後には全部參集、服裝其の他にも遺憾なく、且つ捕縛演習も日頃の訓練を發揮して上首尾に終始したことは感謝に堪へない、今後も出征勇士の意氣を以て銃後治安に一層の努力を希望する

× ×

クスリ 資生堂 小名濱町 電一四七

平保健所新廳舍竣功

平市八幡小路元磐中グラウンドに新築中の國營平保健所は此程竣功、六日青沼市長宅の假事務所から新廳舍に引き移つた、一五二坪の二階建で電話七六九番

赤井の山火事 十町歩を燒く

六日午前十時頃赤井村西小川地內區有山林から發火約十町歩を燒いて正午頃鎭火した、原因は炭燒き橋本登(吾二)經營の炭燒カマドの飛火で損害約五百圓

先月の大地震以來の餘震

一ヶ月間强弱合せて何と七百七十回

小名濱測候所では絕對に不安がない、と自言に滿ちて言明

去る十一月五日本縣浪江沖を震源地とした强震は意外に大きく津浪の怖れありとて山に近村に避難するといふ大騷ぎを演出し以來餘震頻々として起り人心を不安に導いて居つたが小名濱測候所に一ヶ月を經た今日模樣と學問上に現はれた統計を質したが十一月五日以來本月三日までの餘震の數は何と七百七十回といふ大小强弱に見舞はれた譯でその數字を摘記すれば十一月五日五十八回、六日二十六回、七日百十七回、八日六十四回、九日三十一回、十日二十四回、十一日十五回、十二日二十一回、十三日十五回、十四日三十一回、十五日二十二回、十六日十六回、順次毎日十六、八、十、十、十二、二十九、二十三、十九、十七、十四、七、五、十一、二十、本月入つて十五、三、九と本月三日迄に七百七十回の余震に見舞れた、その內譯をすると人身有感九十二回、內强三、中一、弱十二、輕十五、微六十一で無感觸は六百四十九回と云ふ數字である、それで近年國內での强シンを調べて見ると昭和二年三月七日北丹後の强シンには有感六百三十二、無感七百四十八で合計一千三百八十回、昭和五年十一月二十六日伊豆北部の强シンは有感四八十一、無感一千四百十六合計一千五百九十七の余しん、六年九月二十一日の埼玉縣寄居の時には四百六の數字であり、東京地方を襲つた彼の大正十二年九月一日の大災害の場合には何と三千三百六十四といふ記錄も見せてゐる、この現象は熱が放散する爲め海底斷層に龜裂を生じ爲めに余しんが歪曲を是正する爲めに生ずるもので今度の場合は順調なる安定を辿るものであつて全然不安を伴はぬものと言明してゐる

× ×

時代の波に乘つた 小名濱按摩組合誕生

衞生、斯道開發を旗印に

與隆小名濱町に順應して盲人ながら目明を敎ゆる心眼の所有者丈けに賢明なる按摩さん十五名はこの程〃小名濱町鍼灸按摩マッサージ師會〃なる組合を結成し所轄警察署長の認可を得たので先般發會式を擧げ世の中が明るくなつたと一同が悅んだが組合誕生の目的は同業者間の統制と信義を厚くし衞生に注意し業務上の不正行爲を矯め斯業開發に邁進するを目的とするもので巷間目明の癖に盲目の域を犯し料金を取るものに對してはドシ〲告發する手順も出來てゐる、組合役員は左の通りであるが顧問として醫師一名齒科醫一名を推いてゐる因に同組合では近く組合員一同が銃後奉仕として日を期し流して得た金を國防後援會に寄附すると目明擅着の意氣込みである

創立代表公平勇師 會長佐川春世 副會長小野玉一 幹事阿部二郎 〃鈴木太次 〃公平勇 協議員鈴木孚

平職業紹介所の從業員銓衡

平職業紹介所では左記の如く各種從業員の銓衡をなす

▲八日午前十時昭和人絹 ▲九日午前八時陸軍要員 ▲十三日午前十時滿州農業移民 ▲十八日午前九時日立龜有工場 ▲十九日海軍工廠（富岡に於て）▲二十一日富士紡保土ヶ谷工場 ▲二十六日日の出舞鶴工場

平職業紹介所長 炭礦側と打合

立澤平職業紹介所長は來る十四日午後一時から磐城、入山、古河各炭礦を視察從業員斡旋について打合せをする

優秀人材が拂底

滿洲農業移民團に 縣から市町村に推薦依賴

本縣の滿洲移民は集團移民約四百五十戶、青年移民約八百名で明春三月には北學田福島村に約百六十名の農業移民を入植せしめんとしてゐるが移民團の指導階級たる幹部に人材を求められず從來他府縣から團長指導員を迎へてゐる現狀で本縣移民事業の將來に寒心に堪へぬものがあるので縣學務部では今後大量移民の送出と共に優秀な幹部員を送り出すことになり各市町村にこれが推薦方を依賴して來た

應募資格は中等學校卒業以上の者、農村の指導又は敎育其の他の實驗の經驗を有すること、四十五才以下で妻帶者は當分別居生活をなし得るもの募集種類は團長、農事指導員畜産指導員（以上集團移民幹部）と現地訓練所職員訓練生直接指導員（以上青年移民幹部

船舶陸機關 製作修繕
丸八鐵工場
小名濱町築港入口
電話一七五番

巷の聲

翫味すべき原所長の處生術

昨日上水道所長原芳男氏を訪問して雜談に耽る氏が今日の地位を勝得るには人としての修養、處生術に訓練された事は吾人の大に習ふべき事柄が澤山ある

氏は語る、私の青年時代は口も八丁手も八丁でよく他人と喧嘩口論をしたものだ、論議すれば必らずその場は勝を制した、然しその場は勝つても、その事は常に負になつてゐる事を自覺した、中年時代は處生上に就て大に考察した

處生は笑の一字に盡きるものだ、怒るべき事柄でも笑を以て迎へる、不平不滿は數時間にして解消し相手にも好感を植付けるものだ、笑の徳は吾人の信條とすべきである

伊藤君などは氣一本で正義を辿つてゐるが正義觀念に捕はれては、殊に新聞人だけに敵が出來る、其處に一工夫が必要だと思ふ

それには公私の別を明らかにする事だ、假に町議などと接觸するにも一己人と見ないで公職の人だと公人を對照する、そうすれば何事も圓滿に行くものだ

相手方の地位立場を尊重する事になるから何事も平和に行く、常に心を練つて其處の大乘的氣風を積まなければ處生上の正義的楯の半面しか見ない平凡人になる怖れが生ずる、殊に操孤界にあるもの〆翫味すべき事柄ではないかと數百言を費し自己の信條を披瀝した

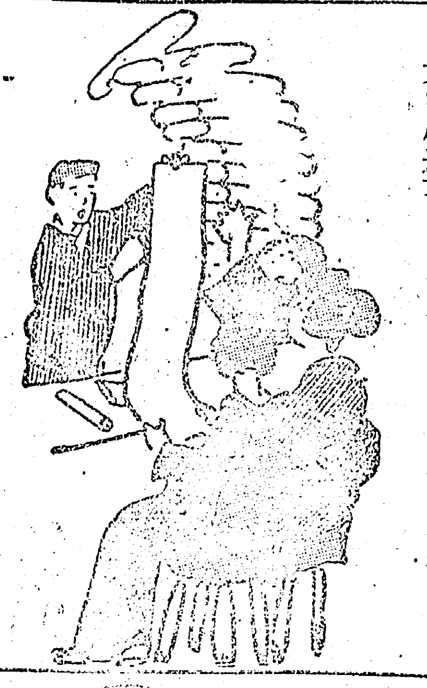
宣なる哉、原技師は處生術と技術と正義觀とにより本町の信望は愈々高く笑つてゐて畏敬され小野町長以下町民の信望は一身に聚めてゐる

—詩—　土を慕ひて

山村の風物は悠揚である
青畦の上で綠林の間に
唄ひ出される歌には
素朴で純情さが
ゑがかれてゐる
その粗野で純然なる
農村の藝術は
自然と共に生きてゐる
この悠揚な風物の中にも
山村には消し難い苦惱と
時代の環境に
迫られてゐる
青年たちの思想の上には
著しい深刻さがある
「都會に出なければ」と
憧憬して
文化を趁ふてゐる
紅葉の時雨散るやうに
空しく落魄し
のろはれた山村は
「土を耕すものは
幸福なり」と自覺して
大自然の原力の中に
復歸して改善する
青年を待つてゐる

…多計夫生…

日曹合成鹽酸
日曹曹達灰
日曹自動三輪車
販賣
其他化學藥品類
魚糧製造
日本曹達株式會社
江名工場

吳服類はぜひ……

樋口吳服店
小名濱町中島通り

耳鼻咽喉科
入院自炊の便あり
大和田醫院
平市南町（電話一七〇番）

銘酒
玉の井
長瀬彰義釀造元
玉川村林城

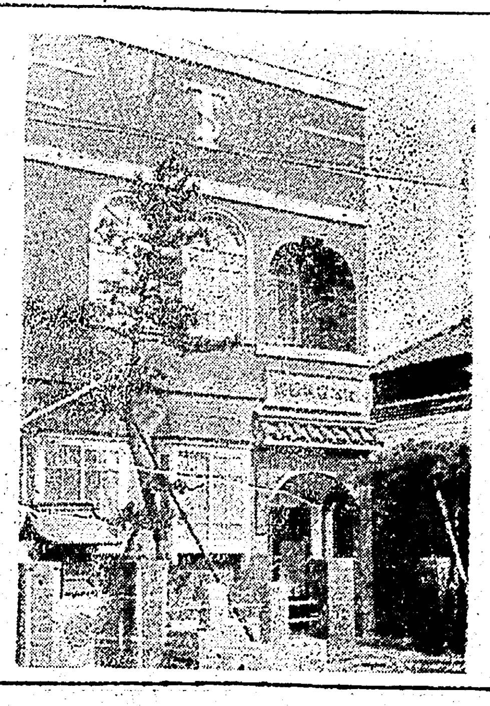
產科 婦人科 專門
名濱町登記所先
森口醫院
（入院手術室完備）
電話二〇一番

サービス萬點

カフエー　ホーライ
小名濱町中島

性病科 產科 婦人科 專門
午前宅診
午後往診
入院隨意
井坂醫院
平市田町
（電話）五五九

印刷見習工　十五、六才以上　優偶ス
新聞配達數名　高一以上ノ方
右急募ス來談アリタシ
常磐新聞社

齒科一般　口腔外科

鈴木齒科醫院
院長　鈴木正
小名濱町銀座通り

永久に記念する婚禮の御寫眞は特に入念藝術味豐富に撮影
鈴木寫眞館へ
小名濱町中島郵便局隣
何時も主人が責任撮影を致します

レントゲン科新設
門馬齒科醫院
院長　門馬忠男
小名濱町中島